

事業所における自己評価結果（公表）

公表：2024年1月25日

事業所名： あいの実 武蔵村山 放デイ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		2	4	●スペースがもう少し広いと良いです ●スペースが足りない時は隣の事業所のスペースを借りて対応している	空スペースの有効活用で対応していく
	②	職員の配置数は適切である	1	3	2	長期休みの昼食時、入浴時など、ピークで必要なスタッフの人数が足りないと感じることがある。	昼食介助の方法を工夫したり、事業所間で協力し、スタッフのやりくりを行う。 長期休みに対応できる非常勤スタッフを採用する。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1	2		年度ごとに目標設定を行い、そのために取り組めることをスタッフ全員で話し合う
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		6			ミーティングでアンケート結果を検討し、業務改善を話し合う。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	3		2019年第三者評価実施
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			定期的なミーティングに事業所管理者が参加出来ていない。業務改善内容が周知されていない。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	2			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	5			子どもの特性を知るためのアセスメントシート(共通様式)を用い理解を深めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	3			ミーティングで話し合い決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	1		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	2			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内 容又は改善目標
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	1	5			業務開始前のミーティングを実施するよう計画し、利用者の体調確認、前日の振り返りを行うよう改善した。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4	1	支援終了後は時間がなく、振り返りを行っていない。	翌日支援前のミーティングで、振り返りを行い、共有するように改善した。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	4			ホワイトボードを活用し、日々の気づきを共有するようにしている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている		5	1	新人職員研修指導計画が不十分な為、アセスメントツールの存在、支援計画、振り返りがどの様に行われているかわからない。	ガイドラインの読み合わせ等を行い、基本指針の共通理解を深める。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	4	1		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	2			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3			必要に応じ、連絡できる体制を整えている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		6			児童発達支援事業所から事前に情報を得て、支援に生かしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供する等している	4	2			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		3	3		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		1	5		感染症対策を優先しつつも、今後検討していく。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		2	4		関係する部会への参加を検討する
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		1		
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4	2	関係機関との連携を担当者(管理者)		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内 容又は改善目標
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	4			契約時に行っていることの共有を他のスタッフにも図る。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	4			特別支援学校とも協力し、同じ方向を向いて支援していけるよう心掛けている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	1		年1回の開催に加え、他の事業所合同での保護者会を開催し連携を支援している。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速適切に対応している	5	1			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1			
	③⑮	個人情報に十分注意している	5	1			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	5		コロナ禍で開かれた活動が制限されてきている。今後検討していきたい。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3			マニュアルの置き場について定期的にアナウンスし、周知を図る。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2			対象者なし
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。